

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>幸せな社会人として生きていく力を育む学校 個に応じた教育活動を展開し、生徒のニーズに丁寧に応えることで、一人一人の資質・能力を最大限に引き出すとともに、地域への貢献活動を通して、豊かな心を持ち、主体的に多様な人々と協働して地域社会で活躍する人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力やコミュニケーション能力など、社会で幸せに生きていくために必要となる力の育成 ・思いやりと優しさを持ち、謙虚さと感謝の気持ちを大切に育む心の育成 ・他の生徒の模範となるだけでなく、リーダーシップを発揮し、集団をまとめることができる力の育成(スポーツコミュニケーションコース)
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態とニーズに応じた学校設定教科と学校設定科目の充実 ・ICTの活用、対話力を高める授業、観点別評価など、生徒のやる気を引き出す授業づくりの推進 ・TTや少人数授業等、個に応じた指導の推進 ・課題解決能力を高める生徒主体の学校行事の実施 ・上級学校訪問や地域と連携したインターンシップ等のキャリア教育の推進 ・生徒の進路に応じた、多彩な各種資格取得セミナーの実施 ・スポーツコミュニケーションコースを中心に、地域との連携を深める教育活動を推進 ・ゴルフ、ダイビング、スキー等様々なスポーツを経験し、学ぶことができるスポーツコミュニケーション実習の充実
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活態度が身につけている人 ・生活態度が真面目で、授業や学校行事等に真面目に、かつ積極的に取り組む人 ・運動部に入部し、粘り強く競技力向上に取り組む人(スポーツコミュニケーションコース)

学校運営計画(4月)

学校運営方針	年度重点目標		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>・生徒に1人1台端末が整備され、早良リンクスやアンケート等での活用は定着しつつある。今後、授業での効果的な活用方法については、教員間の積極的な情報交換が必要である。 ・挨拶については自主的に挨拶をする生徒が増加した。身だしなみについては職員の指導方法の統一化を図り、生徒への指導を徹底していきたい。 ・ボランティア美化活動については、多くの生徒が積極的に参加をし意識の向上を図ることができた。通常清掃については清掃方法などの見直しを行い、生徒の環境美化の意識向上に努めていきたい。 ・スタディサプリに関して、探究講座は年度当初の計画に沿って実施出来た。講義動画は、特に2年生で積極的に活用されており、学習時の有効なツールの1つとして機能し始めている。今年度の成果・反省をもとに、次年度はより効果的に活用していく。 ・3年間を見通した各学年における段階的な指導をより効果的に行うために、より一層の学年間の情報の共有・連携・協力を図ってきたい。 ・スポーツコミュニケーションコースについては、地域に密着した多様な教育活動が展開されていることに評価を得ているが、志願者数増加につながるよう、その活動をより多くの地域の中学生やその保護者に発信し、周知する方法の工夫に努めたい。</p>	<ol style="list-style-type: none"> (1) 人権教育と心の教育を推進し、いじめ、差別、暴力を絶対に許さない安心安全な学校づくりに努める。 (2) 規則・マナーの遵守、挨拶励行、時間厳守、整理整頓等、生徒の規範意識や社会性を醸成する。 (3) ICTを効果的に活用することで主体的・対話的で深い学びによる授業改善を図り、観点別評価を組み合わせることにより、生徒の学ぶ意欲と基礎学力の定着を図り、学力の向上を目指す。 (4) 特進プロジェクトを中心に、大学等への進学を充実させる。 (5) 競技力向上、スポーツ・地域貢献活動実習等の充実により、スポーツコミュニケーションコースの魅力高める。 (6) SC等の外部専門家を活用し、個々の生徒の指導と支援の充実を図る。 (7) 学習はもとより、様々な教育活動において、実現可能な目標を明示し、達成感の積み重ねをとおして、自己肯定感を高める。 (8) 部活動、生徒会活動、学校行事、地域行事等への積極的な参加を促し、周りと協働する体験を積み重ねることで、課題解決能力を高める。 (9) 「早良リンクス」の充実に向け、定期的な成果を検証する。 (10) 目標を明確にした多彩なセミナーを実施し、チャレンジ精神を育み、自信をつけさせる。 (11) 振り返りの場を多く設定し、具体性に富むポートフォリオを積み重ね、進路実現を図る。 (12) 進路実現100%を目標に、生徒の個別指導を充実させる。 (13) 成年年齢の引き下げに伴い、政治参加の重要性や契約、消費者保護の仕組み等の教育を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン、アクティブラーニング、ICTの活用等による授業改善を推進することにより基礎学力の定着を図り、基礎力診断テストや授業アンケートの結果により検証を行う。 ・規則やマナーの遵守について、始業前から頭髪や身だしなみについての指導を共通認識のもと、教員一丸となって行っていく。 ・地域清掃活動やボランティア活動等の地域における活動をより活性化させ、生徒の自己肯定感を高める。 	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	生徒の学ぶ意欲と学力の向上 (授業アンケート満足度90%「4 はい」と「3どちらかといえばはい」 の合計)	アクティブラーニングや学び直しに加え、ChromebookやGoogleアプリ、スタディサプリ等によるオンライン学習やアンケート、ペアワークやグループワーク、小テスト等の活用による更なる授業改善を推進する。	生徒対象授業アンケート	
	生徒との教育活動の時間を 増やすための業務の見直し やICT化の推進	業務分担の均等化や、校務支援システム、Classroom、Teamsに加え、リアテンドットの周知による業務(成績処理、採点業務、行事の反省集約や連絡、アンケート等)の効率化を図る。	職員対象アンケート	
	令和7年度志願者数の増加 (志願倍率1.00倍)	早良フェスタについては活性化推進室と連携し、内容の見直しを行う。これまで好評だったものは継続、新規の取り組みを検討することで、より魅力ある早良フェスタを目指す。これにより早良フェスタ参加生徒の志願率60%以上を目指し、令和7年度全体志願者数の増加につなげる。	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
生徒部 指導課 保健課 支援課	安心安全な学校づくり 規則・マナー遵守の指導	生徒部と学年団との情報共有を毎週の生徒部会で行い、生徒の人権や尊厳が保たれているか確認する。 始業前から身だしなみの指導などの生徒指導を職員全員が共通認識の下、一丸となり実施して生徒自身が規則を守る意識を向上させる。また、講演会や部長講話、学年集会など機会があるごとに交通関係を含めたマナーについて話し、マナーを大切に育む心育成する。	生徒対象アンケート	
	校内美化の推進 心身の健康管理能力の育成	通常清掃に加え、月1回程度、放課後に「ボランティア美化活動」を行い、校内美化を促進する。 健康診断等を通して、心身の健康に関心を持ち、生徒自らが健康な生活を送れるよう自己管理能力を養う。	生徒対象アンケート	
	いじめ問題の未然防止及び早期 発見と適切な対応 支援を必要とする生徒への組織 的な対応	担任、学年からの情報収集や月1回の学校生活アンケート・スマイルアンケート・いじめアンケート等により、支援や指導が必要な生徒を早期発見し、早期解決を図るために組織的な対応を行う。また必要に応じて、SCやSSW、特別支援教育支援員の面談につなぐ。 年度当初に、支援を必要とする生徒に関して全職員で情報共有し、年間通して組織的かつ継続的に対応する。また教務部と連携し、学習面で特に支援を必要とする生徒に対しては、特別支援教育支援員に学習支援を依頼するなど、適切な対応を行う。	学校生活アンケート・スマイルアンケート・いじめアンケート・家庭用チェックリスト・相談ポスト	

様式3

進路部	進路指導の成果と課題を可視化する。	進路希望調査(年2回)や外部模試の分析を確実に進行。進路学習については、進路指導目標と計画を学年ごとに策定、進路実現のための段階を生徒に明示するとともに、その進捗状況も学年と確認し、共有する。	進路希望用紙、進路指導計画表	
	学校満足度調査の「進路指導」の項目において、全学年満足傾向90%以上を維持する。	総合的な探究の時間に生徒の状況に合わせた進路指導を継続的に実施する。また、外部模試の事前・事後指導を学年と協力して実施する。	学校満足度調査の「進路指導」の項目	
	セミナーの受講者数を一定数確保する。	資格取得セミナーの受講者数を、各講座あたり15名を目標として受講者を募る。資格合格者の情報を生徒・保護者に周知する。3年生の進学セミナーについては、年度の早い段階から開始し、2学年についても年度後半より実施する。	資格取得セミナーの受講者数、進学セミナーの開始時期	
1学年	生徒一人ひとりの心の成長を目指すとともに、感謝の言葉を積極的に表現できる雰囲気作りの努める。	挨拶、礼儀、言葉遣い、時間厳守の指導を徹底するとともに、校内、校外と問わず、「ありがとう」の感謝の気持ちを表現できるように、あらゆる機会を活用する。	生徒対象アンケート	
	生徒、保護者との信頼関係構築を図り、生徒の個性を見つけ、伸ばす環境を作る。	生徒・保護者・教員が感じる生徒の困り感について、支援課を中心とするSC・SSW・特別支援教育支援員と連携をとり、個に応じた対応について共有する。	生徒対象アンケート	
	「わかる授業」と進路関連行事により学習意欲と進路意識の向上に繋げる。	SLを中心に「わかる授業」を体感させ、アンケートの「授業が楽しい」傾向を90%以上にする。様々な進路行事や、スタディサプリを活用して生徒の職業観を養い探究心を深める。	生徒対象アンケート	
2学年	社会人としての自覚を促し、自立の意識が持てるようにする。	1日あたりの欠席者を4.0人に、遅刻者を7.0人に減らす。 挨拶、礼儀、言葉遣い、時間厳守の指導を徹底する。 1人1回以上の善行表彰を行い、1110件認める。	GWPの発行枚数	
	「わかる授業」と進路関連行事により学習意欲と進路意識の向上に繋げる。学校や教員との信頼関係を良好にして、学校生活のすべてに前向きな生徒を増やす。	授業アンケートの「授業が楽しい、分かりやすい」傾向を95%以上にする。 資格取得セミナーの受講者数延べ50人を目指す。 担任、SC等の面談を活用し、生徒と保護者との連携をとる。	生徒対象授業アンケート、資格取得セミナーの受講者数	
	学校行事等を通して生徒が役割を担い、生徒のあらゆる力を引き出して個性を伸ばす機会を作る。	各行事で役割を与え、リーダーシップとフォロワーシップの育成を図る。 ボランティア参加者を200名以上とし、社会性を向上させる。 学期ごとに目標を考えさせて、意欲的に学校生活を送れるようにする。	ボランティア活動の参加生徒数	
3学年	生徒の学習意欲を高めて学習態度と学力定着を良好にする。	授業アンケートの「授業が分かりやすい」傾向95%を維持する。 授業開始時に服装や机を整えることを100%とする。 教務部から示される授業改善の4つの視点や徹底事項を100%遂行する。	授業アンケート、授業巡回	
	愛校心を育み、学校行事に積極的な生徒を増やす。	学校満足度調査の「総合評価」の項目において満足傾向90%を維持する。 1日あたりの出席率95%を維持し、遅刻者率6.0%以下を目指す。 ボランティア参加者の延べ人数250名を目指す。	満足度調査、出欠統計、記録	
	スポコミ一般クラスの就職内定率や特進クラスの中堅大学合格数など、進路実績を上げる。	学校満足度調査の「進路指導」の項目において満足傾向90%以上を目指す。 就職希望者に対して2社以上の職場見学を課し、就職1次試験内定率90%以上を目指す。 特進戦略会議を行い、中堅大学以上の合格者5名以上を目指す。	満足度調査、記録	
スポーツコミュニケーションコース	本コースの志願倍率1.0倍を目指す。	中学校訪問を、5～6月、10～11月の2期に分けて実施する。 各強化指定部活動ごとに、中学生向けのスポーツ教室や訪問指導を実施する。	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
	本コースの特色ある活動を通して、地域に愛される集団を育成する。	多様な実習等を実施し、本コースの特色をより魅力的なものにする。 小学校での体力テスト補助やオイスカ西日本研修センターでの地域貢献実習を通して、地域に愛される人材を育成する。	関係団体・近隣小学校・地域へのアンケート	
	外部機関との連携を強化し、生徒の進路意識を向上させる。	1・2年生の早期から上級学校訪問や出前指導を実施する。 アダプティッドスポーツ実習を上級学校との協力体制で実施し、より効果的な実習とする。	スポーツコミュニケーションコース生徒アンケート	
活性化推進室	令和7年度志願者数の増加	デザイン刷新を目的とした学校案内作成の外部委託 学校の特色を知らせるためのチラシの作成 学校の「魅力」を中学校・保護者にPRするためのポスター掲示	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
	広報活動の強化	体験入学(2回)の実施、夜の学校説明会(3回)の実施 中学校(8回)や塾(2回)への定期的訪問 学校HP、インスタグラム(行事実施直後)の効果的な活用	早良フェスタにおける生徒・保護者アンケート	
スポコミプロジェクト	スポコミの認知度の向上	スポコミ活性化チームを設置し、スポコミ調査の分析や広報戦略を練る 部活動生徒による出身中学校への訪問	中学1・2年生対象のスポコミ調査	
	強化部活動の活性化	部活動生徒による出身中学校への訪問 部活動単位でのスポーツ教室等の実施	中学1・2年生対象のスポコミ調査	